

# 農業情報処理

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
農業情報処理（実教出版） 副教材 文書処理検定問題集3・4級編	2	1年（アグリビジネス科）

## 1 学習の到達目標

<b>学習の到達目標</b>	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。
----------------	---

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
前期	4	授業オリエンテーション	1	・本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				取り組み姿勢
		生活と農業の情報化	5	・生活における情報の具体的な活用事例を通して情報化社会のモラル、セキュリティについて理解を深める。また、文書処理検定4級程度のワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○	○	取り組み姿勢 課題提出
	5	コンピュータと情報処理とコンピュータの仕組みと利用	3	・情報の伝達、表現方法であるメディアについて理解する。また、コンピュータの仕組みについて理解を深める。	○			○	取り組み姿勢
		文書処理検定4級問題	5	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出
	6	前期中間考査						○	定期考査
		情報通信ネットワークのしくみと情報セキュリティ管理	2	・情報通信ネットワークについて理解させる。また、情報管理の重要性を理解し、セキュリティについて理解を深める。	○	○			取り組み姿勢
		文書処理検定4級問題	5	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出
	7	インターネットの仕組みと利用	2	・インターネットの仕組みについて理解を深め、活用できるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢
		文書処理検定4級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出
	8	電子メールの利用	2	・電子メールの仕組みを理解しマナーを守って活用できるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢
		文書処理検定4級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出
	9	農業学習とプロジェクト学習	1	・プロジェクト学習における情報活用に興味・関心を持つ。	○	○			取り組み姿勢
		前期期末考査						○	定期考査
		文書処理検定4級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出
後期	10	農業学習とプロジェクト学習	4	・プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を理解し、活用できるようになる。	○		○	○	取り組み姿勢
		文書処理検定3級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出
	11	プロジェクト発表と情報発信	3	・校内実績発表会の準備を通じて、プロジェクト発表について理解し、プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を習得する。	○		○	○	取り組み姿勢
		後期中間考査						○	定期考査
	文書処理検定3級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出	
12	プロジェクト発表と情報発信	1	・校内実績発表会の準備を通じて、プロジェクト発表について理解し、プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を習得する。	○		○	○	取り組み姿勢	
	文書処理検定3級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出	
	1	文書処理検定3級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○		取り組み姿勢 課題提出

2	画像・図形処理ソフトウェアの概要	1	・画像・図形処理ソフトウェアの概要について理解を深める。	○		○	取り組み姿勢
	後期期末考査					○	定期考査
	文書処理検定3級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○	取り組み姿勢 課題提出
3	画像・図形処理ソフトウェアの概要	1	・画像・図形処理ソフトウェアの概要について理解を深める。	○		○	取り組み姿勢
	文書処理検定3級問題	4	・ワープロ・表計算ソフトの基本操作を習得する。	○	○	○	取り組み姿勢 課題提出

### 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能	④知識・理解
内容	情報処理技術の向上に積極的に取り組み、授業で出される課題を毎時間提出すること。	出された課題から答えを導くこと、課題や指示された問題に答えられること。	情報処理技術の自己目標を定めて、期間ごとに目標値を達成できていること。	定期考査および、授業中の基礎テストから理解を図ること。定期考査4回、各月に小テスト実施。
割合	15%(点)	15%(点)	20%(点)	50%(点)

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0